

東藤沢地域包括支援センター

《運営・処遇方針》

【私たちの使命】

東藤沢地域包括支援センターは、法人の理念と基本方針に基づき、入間市より委託を受けた事業所として、地域住民の心身の健康の保持及び生活安定のために必要な援助を行い、地域の保健、医療、福祉、介護の専門職種のみならず、ボランティア団体や民生委員、サロンの主催者や自主サークル、または企業等と連携を図りながら、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域包括ケアシステムの構築を目指していくことが使命であると考えています。

【私たちが提供できる価値】

《主任介護支援専門員》

高齢者がいつまでも住み慣れた地域で安心して在宅生活を継続できるよう、できることはできる限り本人が行い、自身の生活機能向上に対する意識を引き出し、要介護状態になることを予防していくための支援を行います。

また個別地域ケア会議の開催し、介護支援専門員、専門職と情報を共有し連携していきます。介護支援専門員の資質向上のため、入間市介護支援専門員協会と連携の他、介護支援専門員が抱えている困難事例について、具体的な支援方針を検討し、助言、同行訪問を行います。

さらに認知症高齢者の増加や多様化する高齢者の生活の尊重という視点から、主治医、介護支援専門員などの様々な職種と連携し、個々の高齢者の状況やその変化に応じて、継続的にフォローアップしていきます。

《社会福祉士》

相談がしやすいよう、地域住民に対し、権利擁護啓発活動を行います。

認知症などにより判断能力が低下し、適切に介護保険サービスの利用や金銭管理、法律行為が難しくなってきた場合には、成年後見制度の利用を検討し、必要であれば申し立て支援を行います。

高齢者虐待防止と早期発見に取り組み、通報や相談を受けた場合には高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律及び入間市高齢者虐待マニュアルに基づき、行政と連携を図り、適切な対応を行います。

《看護師》

感染症予防、新型コロナウイルス感染拡大の動向を確認しつつ、関係機関と連携しながら、可能であれば認知症カフェや家族会の開催を検討していきます。

難しい場合には個別相談会を開催します。

《生活支援コーディネーター》

誰もが暮らしやすい地域を目指し、行政、関係機関、地域住民組織と連携し、高齢者の社会参加の場所、担い手づくりに取り組んでいきます。

【年度終了時の展望】

高齢化、認知症、*8050問題、担い手など様々な課題が地域に存在しています。

多様な課題に対して、行政、介護サービス事業所、医療関係者、民生委員などの多職種多機関と情報共有し、解決に向けて取り組んでいきます。

また新型コロナウイルスへの感染症予防対策を行うことは重要であり、感染拡大の動向に留意しつつ、今後も手洗い、うがい、マスクの着用、職場の消毒といった感染症予防対策を行っていきます。

*8050問題 「80代」の親が「50代」の子どもと同居して経済的支援する状態をなぞらえた中高年ひきこもりを抱える世帯を象徴した言葉